

だっこするよ

2023年10月



北区立赤羽台保育園
園長 奥戸 昌子

天高く 馬肥える 秋 素晴らしい感動をありがとう！！

幼児組の運動会が天候に恵まれて無事に終わりました。保護者の皆さん、温かな応援有り難うございました。今年どんだんさんのスローガンは「みんなで楽しい かっこいい 素敵な運動会」でした。その言葉通りにそれぞれに、それぞれの表現で園生活最後となる運動会をカッコよく、有終の美を飾りました。

オープニングのお神輿担ぎ、そして、ソーラン節へ、太鼓の響きに合わせて、全力で堂々と踊る姿に胸がいっぱいになりました。きっと保護者の皆さんも同じだったのではと思います。そしてパラバルーン、最後のクラス対抗リレー、全員の気持ちを一つにして臨みました。接戦となり、仲間の為に本気で走った一周はどんな気持ちだったのでしょうか。ただ、ただ自分の力を信じて、仲間にもバトンを渡そうと全員が必死で走りました。

そもそも、行事は、子どもたちのもの、運動会を「する?」「しない?」と話し合いを持ち、実施が決定した運動会。勿論、プログラムも話し合っ、ソーラン節、パラバルーン、リレーに決まりました。途中、葛藤しながらもそれぞれに取り組む姿が見られました。予行から熱を帯びてきてリレー、走者の順番も何度も話し合いました。そして、本気で臨んだ

本番。築いてきた絆がしっかり結ばれて、閉会式には力を出し切った42名を保護者と職員が一つになって讃えていました。会場全体が感動していました。

のびのびさんとぐんぐんさんは、親子で運動遊びを楽しもうというねらい通りに楽しみました。駆けっこで名前を呼ばれて返事する姿も一人ひとり微笑ましくて可愛かったです。親子ダンスのあとにママやパパやお兄ちゃんからぎゅーと抱っこしてもらった子どもたち、とても嬉しそうでした。

この子どもたちの未来が楽しみです。周りの人々から愛されて育った子どもたちは、きっと地球を平和に導いてくれます。

保育所保育指針の幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿にある協同性には、このように書かれています。「友だちと関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現にむけて考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げるようになる」と。集団生活を通して、友達と切磋琢磨して成長していく子どもたち、素晴らしいですね。

私たちの役割は、一人ひとりの個性や発達を尊重し、様々な日常生活の中で、唯一無二の人格を育てていくことだと考えております。それぞれの違いこそが人間の豊かさであり、その子の宝です。

私は、子どもたちの様子を見守りながら、日常生活も行事も日々、赤羽台を異年齢保育にして本当に良かったと心から思います。特に運動会への取り組みは、大人が、指示を出し、訓練して、見栄えや統率を目指したくなるからです。私は、ここを益々、一人ひとりを大切に、人間関係が豊かにつながる園にしたいです。子どもが子ども同士でゆっくりと育ち合えること、自由な生き方で関わり合っ成長できる権利を保障していきたいと願っています。

どんだんさん皆で、運動会の振り返りをしました。直ぐに「全部、楽しかった!」の声が続き、「リレーで悔しかった。」「みんなが頑張った。」「最後まで絶対あきらめないで感動した」とその場にいた全員が同じ気持ちでした。私は、今も最後のゴールシーンを思い出すと、泣けてくるくらい感動しました。

子どもたちのドラマは、想像以上です。大人も忘れられない運動会となりました。有難う!!みんな!!写真は、オープニングのソーラン節です。